

アウグスティヌス Augustinus,Aurelius 354~430

西洋古代の教父で、「西洋の教師」や「教会の父」と呼ばれるラテン教会四大博士の一人。

北アフリカのヌミディアのタガステで生まれる。敬虔なキリスト教徒の母モニカ(のち聖女)から宗教教育を受けたが信者にはならなかった。16歳の頃には、カルタゴに出て修辞学を学ぶ。彼がマニ教に入信したのは20歳の頃であり、グノーシスや善悪二元論に没頭したものの、次第にマニ教に対して懐疑的になって、新プラトン派の懐疑論へと傾いた。

383年、母の反対を押し切ってローマへ渡り、翌年ミラノで修辞学(ラテン語文法と文学)の教授となった。ミラノで聖アンブロシウス(彼も四大博士の一人)の説教に感銘した彼は、386年キリスト教に回心しカトリック教会に改宗、そのアンブロジウスにより洗礼を受けた。388年には教職を辞して故郷タガステに帰り、396年に司教になってからは死ぬまでその職にあって、神学や哲学の著作を執筆した。

アウグスティヌスは、新プラトン派のギリシア哲学とパウロを中心としたキリスト教思想の統合を図り、以後の西洋思想形成に大きな影響を与えた。

Great Books 16 告白(Confessiones)

全13巻。アウグスティヌスが司教であった400年前後の時期に書かれた。

前半10巻まではアウグスティヌス自身について述べられ、11巻から13巻までは『創世記』の解釈が説かれている。一見すると別々の二つの著作を継ぎ足したもののように見えるが、そうではなく、人間の存在の脆さを解決しようとする姿勢は一貫したものである。

前半の伝記的な部分は、私たちが普段目にする自伝とは異なっており、その9巻までは、マニ教に入信していた頃の自分の生活を振り返り、キリスト教との出会い(聖アンブロシウスの説教)によって、安息の日々を送れるようになったことに対する感謝の気持ちが語られる。被造物としての空しさと不安から享乐的な生活を送ったアウグスティヌスがその不安から抜け出すことができたのは、自分が無から生まれて無へ帰るのではなく、神によって創造され、その存在の根拠を与えられて、神の国へと向かうのだということを確認できたからである。10巻は、こうした確信を持つに至った、司教としての自分の現状を述べ、神への感謝の念を記した箇所である。

この確信を普遍的なものにするために、彼は後半部分で、『創世記』における天地創造を詳しく述べた。自分を実例にあげて個々人としての被造物の空しさを説明した前半部分に対して、後半部分では『創世記』を解釈することで、被造物全体の空しさを解明しようと試みたのである。

その中で、11巻は被造物の存在を成り立たせている**時間**について論究したものであり、人間が時間的な存在であることを解明したものである。神が時間を超越した存在であるのに対して、人間は限られた時間の中で生きる存在である。彼は、創造主である神と被造物である人間の最大の違いを、人間が時間的な存在であるという事実に求めたのであった。

そして彼は、たとえ人間には死(終わり)の不安があっても、神の恩寵によってその時間的な存在を永遠の存在に変えられるという確信を『告白』全体で述べたのである。

Key Word 時間

時間とは、何であろうか。誰がそれをすらすらと簡単に説明できるであろうか。誰がそれを言葉で表わすために、少なくとも、思考によって捉えることができるであろうか。...(中略)...たしかに、私たちは時間について語るとき、それを理解しているし、ほかの人がそれについて語るのを聞くときでも理解する。それでは、時間とは何であろうか。誰も私に尋ねなければ、私は知っている。尋ねる人に説明しようとする、私は知らない。

< 渡辺義雄(訳) 『世界古典文学全集 26 アウグスティヌス・ポエティクス』「告白」第11巻 第14章 筑摩書房 >

◆ *Great Books* 文献案内

- 📖 アウグスティヌス著作集 5 - 1 告白録 / 宮谷宣史(訳)
教文館 1993年刊 490 p <132.1/6/5-1> 資料番号 20612800
- 📖 アウグスティヌス(世界の思想家) / 泉治典(編)
平凡社 1977年刊 235 p <132.17H/4> 資料番号 10211100
- 📖 告白 上・下(岩波文庫) 改訳 / 服部英次郎(訳)
岩波書店 1976年刊 <1132/7/1~2> 資料番号 12249660, 12249686
- 📖 世界の名著 14 アウグスティヌス / 山田晶(編)
中央公論社 1968年刊 550 p <080/5/14> 資料番号 12784336
* 告白 / 山田晶(訳)
- 📖 世界古典文学全集 第26巻 アウグスティヌス・ポエティウス / 渡辺義雄(訳)
筑摩書房 1966年刊 456, 8 p <908/29/26> 資料番号 11876257
* 告白・幸福な生活・独白
- 📖 世界大思想全集 社会・宗教・科学思想篇 27 / 今泉三良(訳)
河出書房新社 1955年刊 370 p <080/3/2-27> 資料番号 10134609
* 告白
- 📖 Great books of the Western World vol.18 Augustine / Robert Maynard Hutchins(ed.)
Encyclopaedia Britannica 1989年刊 698 p
<080/G/18> 資料番号 20257333

◆ 理解を深めるために 参考文献案内

- 📖 アウグスティヌスの愛の概念 / ハンナ・アーレント(著) 千葉眞(訳)
みすず書房 2002年刊 265 p <132.1LL/111> 資料番号 21463369
- 📖 アウグスティヌスの哲学 / 谷隆一郎(著)
創文社 1994年刊 429, 10 p <132.1CC/104> 資料番号 20666772
- 📖 アウグスティヌス / H. J. カイザー(著) 小阪康治(訳)
新地書房 1990年刊 234 p <132.1Y/101> 資料番号 20232633
- 📖 アウグスティヌス講話 / 山田晶(著)
新地書房 1986年刊 214 p <132.1U/14> 資料番号 12303475
- 📖 人類の知的遺産 15 アウグスティヌス / 宮谷宣史(訳)
講談社 1981年刊 384, 3 p <280.8K/13/15> 資料番号 10497220
- 📖 アウグスティヌス(思想学説全書) / 服部英次郎(著)
勁草書房 1980年刊 218, 9 p <132.1M/9> 資料番号 10211043
- 📖 アウグスティヌス著作集 全30巻 / 赤木善光(ほか責任編集)
教文館 1979年~刊行中 <132.1/6>
- 📖 土曜学校講義 第1巻 / 矢内原忠雄(著)
みすず書房 1970年刊 368 p <081.8/34/1> 資料番号 10156743
* 内容: アウグスティヌス 告白